

関西財界セミナー賞 2026

関西財界セミナー賞は、関西において、強い競争力や優れたビジネスモデルを持ち、その独自性を生かして関西の活性化に貢献している企業・団体・個人を表彰している。

大賞

大阪市高速電気軌道株式会社



<受賞理由>

2025 年大阪・関西万博開催期間中、世界でも類を見ない高密度長時間運行を継続し、バスとあわせて来場者輸送の大半を担った。自動運転バスなどの実証も進め、閉幕後も森之宮新駅整備を通じ、大阪の東西軸形成に貢献している。

<受賞コメント> 河井 英明 代表取締役社長

万博期間中には 2,900 万人以上が来場し、当社はその 85% の輸送を担った。中央線の輸送力増強により、夢洲駅の累計利用者は 4,000 万人に達した。皆さまのご支援により成し遂げることができた。深く感謝申し上げる。万博で得た経験と技術をレガシーとして継承し、今後は都市型 MaaS 構想に向けて尽力していきたい。

特別賞

アドベンチャーワールド



<受賞理由>

中国との共同研究で 17 頭のジャイアントパンダの繁殖・飼育に成功。中国以外では世界最多の成果を上げている。こうした取り組みが全国のファンを引きつけ、関西・和歌山の魅力向上に大きく貢献した。

<受賞コメント>

山本 雅史 株式会社アワーズ 代表取締役社長
「いのちをつなぎ、いのちの美しさに気づく場所」をテーマに、48 年間さまざまな物語を紡いできた。動物との触れ合いが減っている今こそ、命について考える機会をより多く届け、生きることや命の尊さを感じられる社会を作りたい。楽しさのなかに学びや気づきがある当パークを、家族や大切な方とぜひ訪れていただきたい。

株式会社小田垣商店



<受賞理由>

享保 19 (1734) 年の創業以来、一貫して黒豆事業を展開し、地域の生産者と協力して黒豆文化の発展に貢献。国登録有形文化財である自店舗の宿泊棟への改修や、外部人材の活用・新たな商品開発等にも取り組み、地域の活性化と魅力発信に大きく貢献している。

<受賞コメント>

小田垣 昇 代表取締役社長
創業以来生産者や地域に支えられ、丹波黒豆の専業として丹波黒の文化を守り、受け継いできた。コロナ禍に受け入れた企業からの出向者に知見を得て、新たな地域活性化にも挑戦している。今後も丹波黒を通じて、若者の雇用創出や地域文化を次世代につなぐ取り組みを継続していきたい。

クオリプス株式会社



<受賞理由>

ヒト iPS 細胞由来心筋細胞シートを用いた再生医療技術の開発・事業化を進め、大阪・関西万博では iPS 心臓を展示して未来の医療を紹介した。独自技術で難病治療に希望をもたらすとともに、医療イノベーション拠点としての関西の存在感向上に大きく貢献している。

<受賞コメント>

草薙 尊之 代表取締役社長
現在、重症心不全患者向けのヒト iPS 細胞由来心筋細胞シートを厚生労働省に承認申請中で、承認されれば世界初の医療用製品となる可能性がある。万博では多くの方に医療の未来を体感いただいたが、これを契機にバイオベンチャーの集積拠点づくりや創業系スタートアップとの連携を進め、産業基盤の構築をめざしたい。

株式会社 With Midwife 代表取締役 岸畑 聖月 氏



<受賞理由>

助産師として病院に勤務する傍ら、専門知識を生かし、契約企業の従業員やその家族が健康・育児・介護などに関して 24 時間 365 日・匿名で、オンライン相談できる新たなサービスを創出。家庭と仕事の両立支援の新たな形として、企業の成長と社会課題の解決に大きく貢献している。

<受賞コメント>

助産師の専門性に加え、人事・労務やキャリア支援の知識を身につけた「ウェルネスコーディネーター」を育成し、企業の従業員とその家族に個別に寄り添い、健康・育児・不妊・メンタル不調など医療に至る前段階で支えが必要な相談に対応している。今後も多くの女性が自分らしく輝けるよう支援していきたい。

トレジェムバイオフィーマ株式会社 代表取締役社長 喜早 ほのか 氏



<受賞理由>

先天性無歯症の治療をめざし、独自抗体による世界初の「歯が生える薬」の開発に挑戦。2025 年の希少疾病用医薬品指定により開発の加速が期待されるとともに、将来的には永久歯を失った人々やオーラルフレイルの改善への貢献も期待される。

<受賞コメント>

京都大学発の創業スタートアップとして 2020 年に設立した。順調に進めば、今年中にも患者を対象とした次段階の臨床試験に移行できる見通しである。臨床現場では、葛藤を抱えつつ一日も早く患者に治療を届けたいとの思いで研究開発を進めてきた。より多くの患者に笑顔を届けられるよう、今後も成長を続けていきたい。

一般社団法人暮らしの学校農楽 代表理事 木村 尚子 氏



<受賞理由>

生まれつきの障がいや対人関係の不調などにより社会参加が困難な人々を受け入れ、農業を通じて自立を支援。利用者の多くが引きこもり状態を脱している。過疎化が進む豊岡地域に若年層の流入を促し、地域活性化と農業振興にも貢献している。

<受賞コメント>

私たちは兵庫県豊岡市で、社会への出づらさを抱える方々とともに農作業に取り組み、生きる力を育んできた。農楽は働く場・生活訓練の場であるとともに、将来の地域の担い手を育む場でもある。こうした取り組みは全国各地にも広がっており、社会の認知度がより高まることを願っている。

株式会社 Strolly 代表取締役社長 高橋 真知 氏



<受賞理由>

位置情報と連動したイラスト地図のプラットフォームを提供し、観光地の魅力発信や人流データ分析を支援。13,000 以上のデジタル地図を基盤に国際展開を進め、DX を通じた観光振興の新たな可能性を切り開いている。

<受賞コメント>

Strolly は「Stroll (そぞろ歩き)」と「Story」が由来で、地域を歩きながら物語を感じられるイラスト地図を提供している。最短ルートを示すだけでなく、地域の魅力をデザインし、位置情報と人流データを活用して観光対策にも寄与している。今後もデザインと技術、人流分析を組み合わせ、地域に寄り添うサービスづくりを進めていく。

西垣靴下株式会社



<受賞理由>

複数の特許技術を生かした高機能靴下を製造・販売。新ブランド「アシゴト」では女性社員が中心となって企画を実践。国産靴下の主要産地である奈良県で企画から販売まで一貫体制を構築し、地域の産業振興と経済発展に貢献している。

<受賞コメント> 西垣 和俊 代表取締役社長

「靴下で暮らしが変わる」をコンセプトに商品づくりを進めており、今回の受賞は、社員一人ひとりの努力の賜物である。日本有数の靴下産地である奈良で技術を継承していくため、働きやすさと働きがいを両立させ、だれもが輝ける職場づくりに努めている。これからも暮らしをより楽に、より楽しくする靴下を届けていきたい。